

Title	異業種参入による時間・空間消費型地域開発プロジェクトに関する研究 - メカニズムの解明を中心に -
Sub Title	
Author	吉田岳(Yoshida, Takashi) 嶋口充輝
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1993
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1993年度経営学 第1050号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001993-1050

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

吉田 岳

(鹿島建設株式会社)

主査 嶋口 充輝

副査 和田 充夫

池尾 恭一

所属

嶋口 充輝 研究室

異業種参入による時間・空間消費型地域開発プロジェクトに関する研究

—メカニズムの解明を中心に—

近年、バブル経済の崩壊と時期を同じくして、時間・空間消費型地域開発プロジェクトの危機的状況が多く見られるようになった。この様な状況に対して、「消費者指向の欠落」が大きな原因として取り上げられている。

本論文では、異業種参入型の時間・空間消費型地域開発プロジェクトを研究対象とし、理論研究並びに事例研究を通じて、消費者指向の欠落に至る現実の時間・空間消費型地域開発プロジェクト事例での参画企業及び開発スタッフの経営活動のメカニズムの解明を目的とする。

事例研究によって、以下に示す事柄が確認された。

- ① 時間・空間消費型地域開発プロジェクトへの異業種企業の参画理由として、「野望」、「外的要請」が挙げられる。これに伴い、認識されるべきリスク意識が欠落する。
- ② 開発の現場では、経営要求であるプロセス面でのリスクの低減化達成のために「開発段階でのスピード化」が経営戦略として採用されている。
- ③ 「開発段階でのスピード化」に対して、事業特性としてこのスピード化を阻害する要因（意思決定の長期化・多段階化・計画の変更要請）との狭間で、開発スタッフは当該の時間・空間消費型地域開発プロジェクトに対する目的意識が欠落する。
- ④ 目的意識の欠落によって開発スタッフの意識と業務の方向性は、意思決定プロセスのクリアに関わる部分に偏重し、消費者指向の維持・拡大の為の活動が弱められる。
- ⑤ 成功の事例の調査から、プロセス面・コンテキスト面両面での「リスク低減化」と「目的意識の認識・共有化」の達成を目指した経営戦略が実施されている。

以上から、時間・空間消費型地域開発プロジェクトの成功の為には、「リスクの低減化」と「目的意識の認識・共有化」を目指して①開発行為の一貫性の担保、②成長連動型の計画ルール策定、③ターゲットの明確化と整合性のとれたマーケティングミックスの実施、④必然性、物語性に裏付けられた開発コンセプトの策定、⑤消費者の価値連鎖に対応した組織体制の整備、等が経営戦略として示唆される。